

大分県佐伯市における 集落の生活環境評価と特徴把握

大分大学工学部福祉環境工学科建築コース
佐藤誠治・小林祐司 建築・都市計画研究室
0656060 野口 浩平

研究の背景

現在、我が国では、人口減少、非成長時代へと突入し、過疎化・少子高齢化といった問題は、特に中山間地域や離島を中心に急速に進行し、**限界集落問題**が生じている。

また、モータリゼーションの進展や市町村合併に伴い、人々の生活圏域は拡大し、地域間の格差や各年代における**地域の生活環境の認識の違い**が生じている。

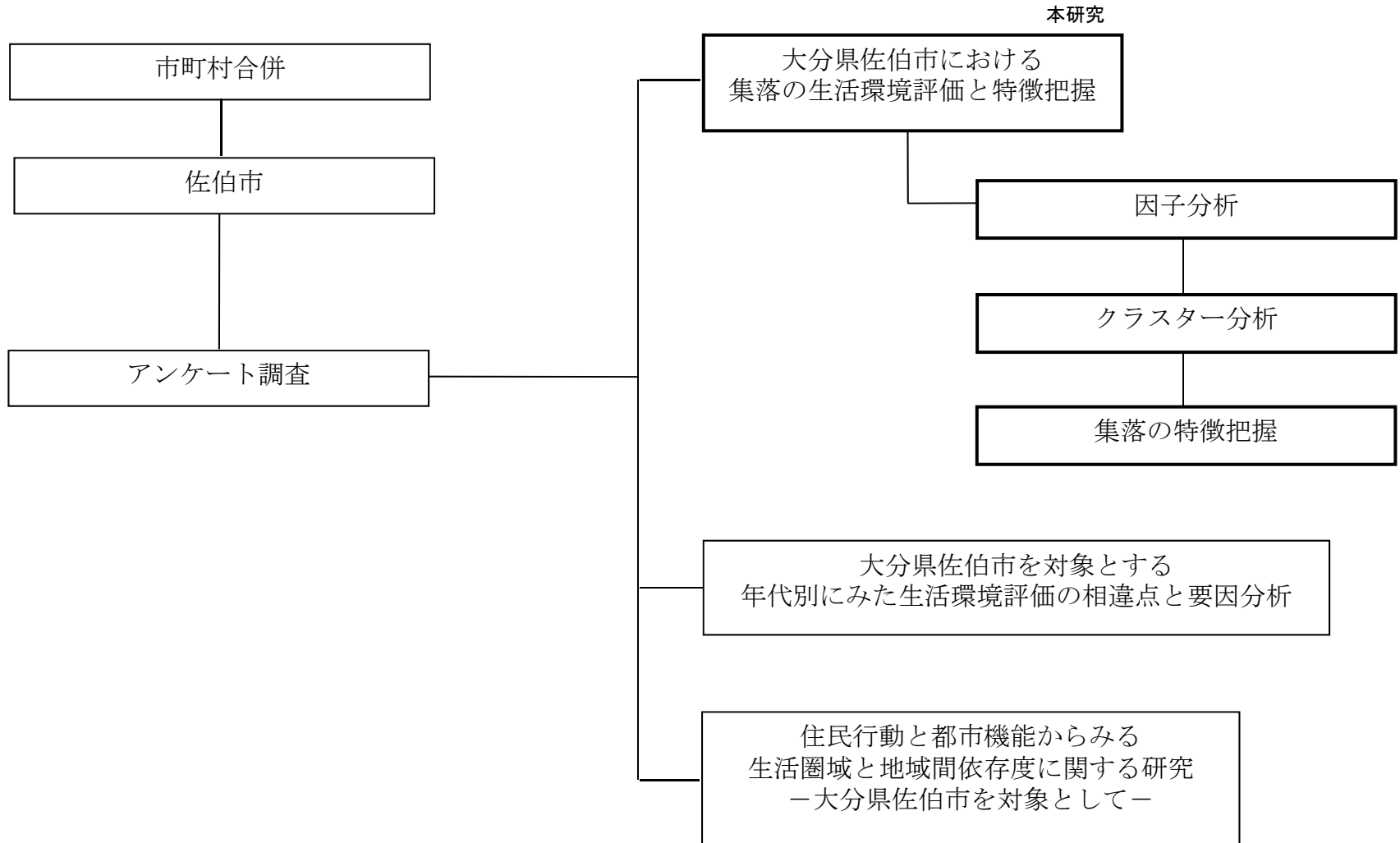


研究の背景



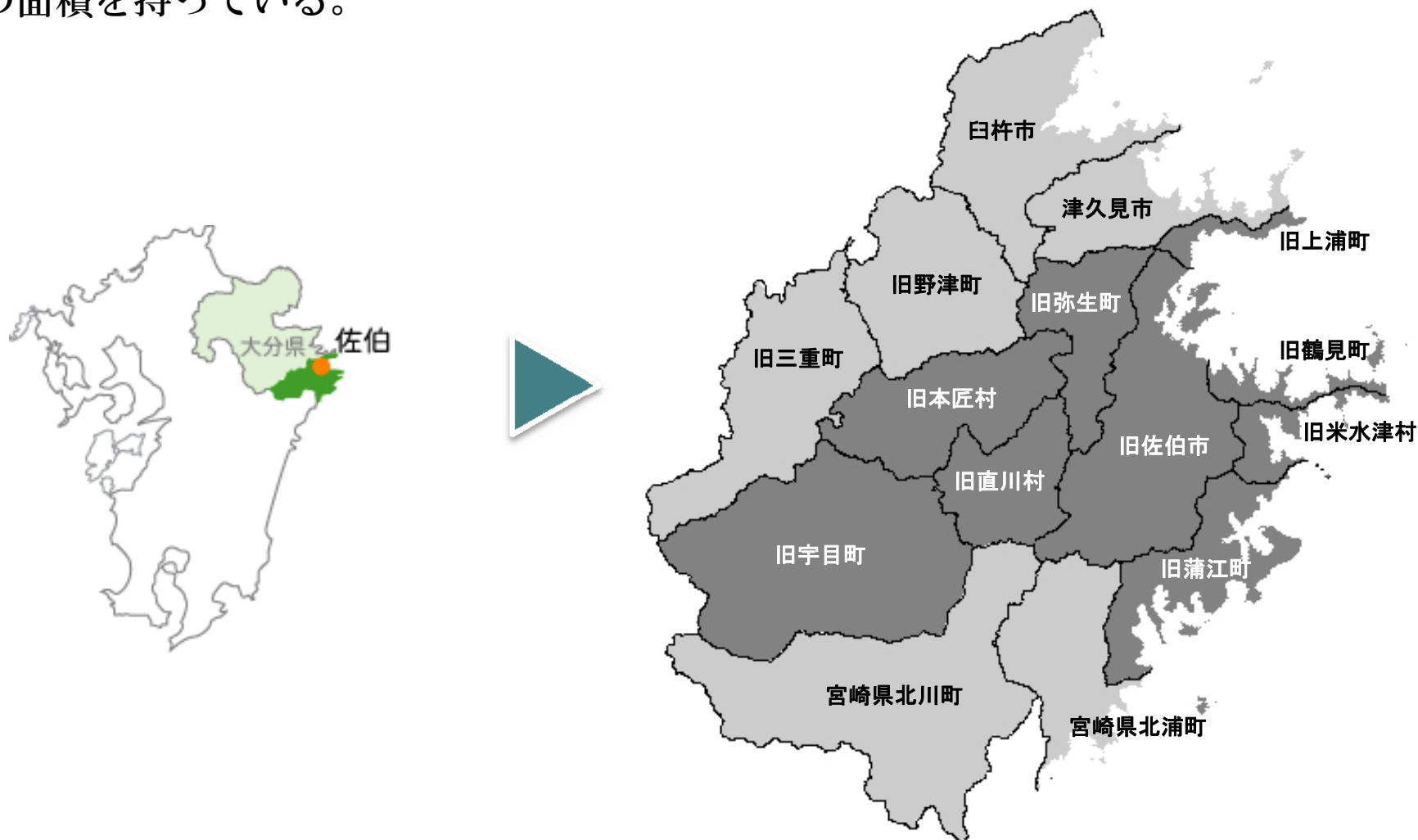
今後、具体的な生活環境の改善においては、地域特性や地域住民のニーズを考慮した形で施策を行うことが望ましい。そのためには、地域がもつ構造特性と地域住民がもつ生活環境などに対する意識との関連性を認識しておく必要がある。

研究のフロー



研究の対象

大分県佐伯市は平成17年3月3日に佐伯市・上浦町・鶴見町・米水津村・蒲江町・直川村・本匠村・宇目町の1市5町3村が市町村合併され、約903km²という九州最大の面積を持っている。



アンケート調査の概要

アンケート配布数：2234通

回収数：957通

回収率：42.8%

アンケート項目

- ・ 問1 属性について
- ・ 問2 地域内・外交流について
- ・ 問3 生活利便施設の利用状況について
- ・ 問4 お住まいの地域の環境について
- ・ 問5 将来について
- ・ 問6 ご意見・ご感想

因子分析

アンケート調査から得られた地域の生活環境評価の項目を用いて因子分析を行った。

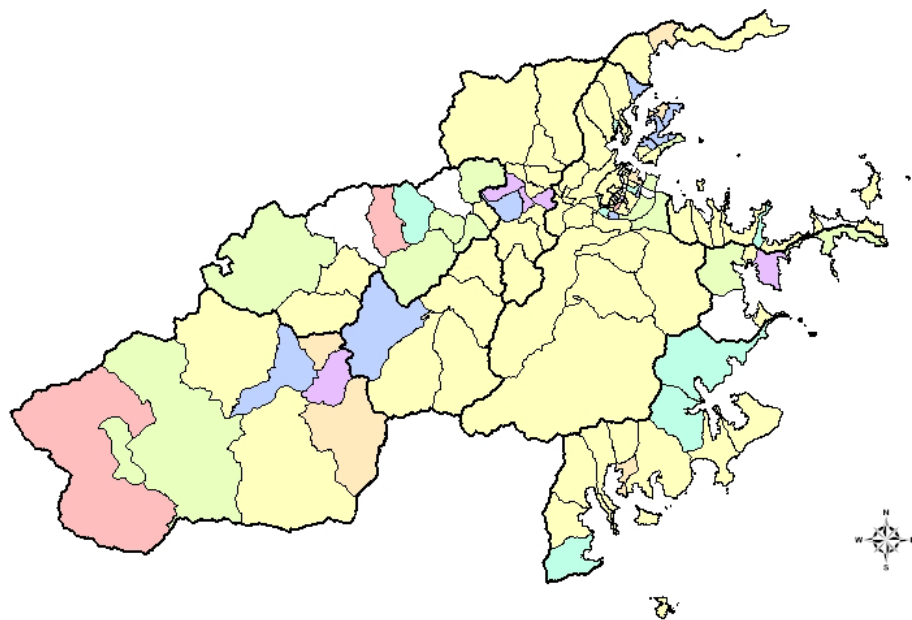
項目	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子
⑬住んでいる人の気質や人情が良い	0.885	0.063	0.003	-0.048	-0.251
⑫地域内のまとまりがある	0.799	-0.029	-0.002	0.034	-0.087
⑪住み心地が良い	0.682	0.057	0.259	0.003	-0.018
⑮地域の活動や集会に参加することが楽しい	0.530	-0.039	-0.145	0.116	0.126
⑩自然環境が良い	0.512	-0.115	0.038	-0.111	0.188
④通勤・通学が不便である	0.020	0.768	0.270	0.125	-0.055
③バスなどの公共交通が少ない	-0.010	0.598	0.065	0.121	-0.060
⑤買い物が不便である	-0.222	0.545	0.453	0.121	-0.095
⑥病院などの医療施設に不安がある	-0.040	0.416	0.627	0.076	-0.047
⑧子供の教育に不便や不公平を感じる	0.029	0.331	0.557	0.091	-0.134
⑨生活をしていくのに経済的に厳しい	0.042	-0.078	0.516	0.172	-0.138
⑦老人福祉施設に不安がある	0.093	0.224	0.450	0.176	0.085
①道路や上下水道などの基盤整備が不十分である	-0.026	0.156	0.223	0.834	-0.089
②道路などの整備が不十分である	0.020	0.172	0.209	0.764	-0.094
⑭人付き合いに気を使う	-0.099	-0.036	-0.156	-0.155	0.680
⑯祭り・伝統行事が盛んである	0.247	-0.205	-0.008	0.014	0.305
個有値	2.563	1.704	1.660	1.452	0.756
寄与率	16.022	10.648	10.377	9.073	4.726
累積寄与率	16.022	26.669	37.046	46.119	50.845

クラスター分析

得られた因子得点からクラスター分析（Ward法）を行い、全集落を7つのクラスターに分類した。

	クラスター1	クラスター2	クラスター3	クラスター4	クラスター5	クラスター6	クラスター7	平均値
①道路や上下水道などの基盤整備が不十分である	0.072	-0.022	-1.534	-1.077	0.556	1.357	1.529	0.126
②道路などの整備が不十分である	0.024	-0.344	-1.406	-1.092	-0.111	1.554	1.560	0.026
③バスなどの公共交通が少ない	-0.587	0.467	-0.811	-1.467	-1.222	-1.286	0.025	-0.697
④通勤・通学が不便である	-0.253	1.078	-0.079	-1.658	-1.333	-1.173	1.154	-0.323
⑤買い物に不便である	-0.183	-0.152	-0.332	-1.569	0.222	-1.101	1.160	-0.279
⑥病院などの医療施設に不安がある	-0.396	-0.430	-0.371	-1.252	-0.222	-1.131	0.853	-0.421
⑦老人福祉施設に不安がある	-0.184	-0.576	-0.576	-0.454	-1.000	-0.345	0.540	-0.371
⑧子供の教育に不便や不公平を感じる	-0.216	-0.315	-0.240	-0.478	-0.667	-0.458	0.765	-0.230
⑨生活をしていくのに経済的に厳しい	-0.608	-0.980	-1.285	-0.554	-0.222	-0.732	-0.210	-0.656
⑩自然環境が良い	0.841	1.137	1.005	1.677	0.222	1.440	1.110	1.062
⑪住み心地が良い	0.635	1.011	0.273	1.371	-1.222	1.208	1.145	0.632
⑫地域内のまとまりがある	0.253	1.322	-0.391	1.226	-1.556	0.815	0.471	0.306
⑬住んでいる人の気質や人情が良い	0.426	1.530	0.244	1.500	-1.889	0.815	0.733	0.480
⑭人付き合いに気を使う	-0.108	0.096	0.317	-0.141	0.667	0.429	-0.505	0.108
⑮地域の活動や集会に参加することが楽しい	0.012	0.657	-0.574	0.805	-1.556	0.804	-0.120	0.004
⑯祭り・伝統行事が盛んである	-0.137	-0.248	-0.467	0.339	-0.778	0.429	-0.449	-0.187
サンプル数	100	18	24	22	9	14	27	214
サンプル数の割合	46.73%	8.41%	11.21%	10.28%	4.21%	6.54%	12.62%	100.00%

クラスター分析



凡例

- データなし (10地域)
- クラスター1 (88地域)
- クラスター2 (3地域)
- クラスター3 (10地域)
- クラスター4 (11地域)
- クラスター5 (11地域)
- クラスター6 (7地域)
- クラスター7 (6地域)

項目	特徴
クラスター1	自然環境が良く、住み心地が良い。 公共交通が少なく、生活するのに経済的に厳しい。
クラスター2	自然環境が良く、地域内にまとまりがあり、交通も便利。 施設の利用に不安がある。
クラスター3	自然環境が良い。 地域内にまとまりが無く、基盤整備が不十分。
クラスター4	自然環境、住み心地は特に良く、地域内にまとまりがある。 基盤整備が不十分で、交通、施設の利用に不安がある。
クラスター5	基盤整備が整っている。 交通、施設の利用に不安があり、自然環境、住み心地も良くない。特に地域内にまとまりがない。
クラスター6	自然環境が良い。特に基盤整備が充実しており、地域内にまとまりがある。 交通、施設の利用に不安がある。
クラスター7	自然環境、住み心地が良く、基盤整備も充実している。特に交通利便性が良く、施設利便性も良い。 人付き合いに気をを使う。

まとめ

本稿ではアンケート調査結果から佐伯市全域の生活環境評価を行い、生活環境評価の項目を用いて大字単位で集落の類型化を行い、各集落の特徴について明らかにした。

類型化を行った結果、クラスター1のような標準的な生活環境を形成している集落が全域に分布し、良い環境を形成していると感じている人が多いことが分かった。

また、クラスター3やクラスター5のような他の集落と比べて生活環境が低いと感じている人が多い集落が、離島や旧佐伯市以外の地域に分布している。

広域合併により、旧佐伯市とその他の地域の生活環境の格差が浮き彫りとなっている。地域間の生活環境の差を改善するための政策が求められる。

また、全体的に交通の面で不自由を感じている人が多い。高齢化の進展に伴う交通弱者の増加も考えられるため、交通の問題解決が重要である。